

05 変化に気づく

- ・身近な自然の観察を通して、自然の様子や四季の変化に気づく
- ・動物を飼ったり、植物を育てる活動を通して、成長の様子や変化に関心をもってはたらきかける
- ・植物の育ちには一定の順序があることに気づく

モデル事例

10

桜カレンダー

～ 1年を通して、桜の木とそこに集まる生き物を観察しよう ～



実施時期	通年（4月・7月・10月・1月）
実施場所	校庭
時間	1時限×4回（観察） + 1時限（ふりかえり）

めざす姿	05 変化に気づく （02 親しむ、03 興味・関心を持つ、04 違いに気づく）
ねらい	季節により桜の姿やそこに集まる生き物に変化があることに気づく
内容	<p>※この取組は「変化に気づく」ことを目的に考案したモデル事例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて観察ができる身近な木（桜）を1人1本選ぶ ・春・夏・秋・冬と季節ごとに木の様子やそこに集まる生き物を観察する ・1枚の紙に、季節ごとの観察結果を書き込んでいく ・季節に応じた1年間の木の様子を書き込んだカレンダーを仲間で共有する
学習指導要領との関連	<p>四季の変化（小学1～2年生生活） 観察・育てる（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）・比較する（小学3年生理科）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）、自然や文化に親しむ（小学生特別活動）</p>

桜カレンダー

はる春

あちこちでハチが飛んでいた。
(ニホンミツバチ)

もじゃもじゃの毛虫がたくさんいた。(ドクガ)

ヒヨドリが桜の実を食べていた。
(ヒヨドリ)

なつ夏

ふだん見ないチョウチョがいた。(アサギマダラ)

メジロがさくらの花のミツをすっていた。
(メジロ)

セミがうるさいくらいミンミンなっていた。
(ミンミンゼミ)

しっぽがルリ色のトカゲが、さくらの木に登っていた。
(ニホントカゲ)

きれいなオレンジ色の鳥がさくらのつぼみを食べていた。
(ウン)

さくらの幹はコケだらけだった。ベタリしたものやモサモサしたものや、葉っぱを出してるのもあった。

おち葉の下でダンゴムシを見つけた。
(オカダンゴムシ)

落ち葉の中にコオロギがいた
(モリオカメコウロギ)

あき秋